

## 目標達成計画

作成日：平成24年6月9日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	法人本部が行う教育体制は整備されているものの、事業所単位での各個人に対しての指導・教育体制が整っていない	職員一人一人の力量を把握し、事業所内で各個人の能力に沿ったトレーニング方法を実施していく	・スタッフ各々が1年間を通しての目標を設定する。管理者・計画作成担当者は定期的に面談を行い目標達成に向けてサポートしていく。 ・介護が未経験の職員に関しては指導・相談担当者を配置しサポートしていく	12ヶ月
2	39	寒暖には気を配っているもののおしゃれをする・身だしなみを意識するところまでは至っていない。	外出時だけでなくホーム内においても身だしなみ・おしゃれを意識できるような機会を持つ	・鏡台の近くに化粧品等を配置し、普段から身だしなみを意識できるようにしていく ・買物時に洋服を見る機会を持つ	3ヶ月
3	25	ひもときシート等を使用して個別の対応を実践はしているが、シートも活用始めたばかりで定着するまでには至っていない	入居者様本人への理解をチームで共有できるように、ひもときシートの活用を定着させていく	・毎月対象者を1人選び、ひもときシートを使用したカンファレンスを月に1度行っていく	6ヶ月
4	50	自身で金銭管理されている方が少なく、又、買物の機会もあまり持っていない	買物等お金を扱える機会を増やし、社会生活への意欲を高めていただく	・個別に買物をする機会を設ける ・新聞の折込チラシ等を見ていただけるよう促し、金銭感覚等に意識を持っていただける機会を増やしていく	3ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。